2001	· /	年 極業計画だった 「				
		度 授業計画(シラバス)   言語聴覚士学科	科目区分	基礎分野	受業の方法	 講義演習
<u>子</u> 科 E		嚥下障害(成人)	必修/選択の別	- 基礎分野 必修	長 受 未 の 万 冱 作	# 我 (2)
	<del>ュュ</del> 学年	2年生	学期	前期	教室名	45   (2)
			7-70	日17 <del>分</del> 月	教主句	0034X主
担 当	教 員	名古将太郎				
実務経験: 25年 実務経験: 25年 関連資格: 言語聴覚士 日本摂食嚥下リハビリテーション 日本摂食嚥下リハビリテーション 回復期リハビリテーション病棟協			ョン学会認定士	セラピストマネジャー	-	
《授業和	斗目にお	らける学習内容》				
・テキス ・評価や ク を通し	ト/講義 ・訓練方 ごて症例	資料 に沿って基礎内容を学び、検査画像 法などについては 講義 および 実技演習 検討などを実施し、定期的な小テスト / 振	を交えて行い、臨床現	場において実践的な	方法を学べる場を	と提供する。・グループワー
《成績詞	平価のブ	5法と基準》				
	験 (100%					
《使用教	枚材(教	科書)及び参考図書》				
(参考書	(2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学第2版 頁肇:実践 内視鏡検査(VE)動画でみる嚥 頁食嚥下リハビリテーション学会(JSDR)会罰	ド治療マニュアル イン	/テルナ出版		
《授業タ	小におけ	る学習方法》				
•書籍 /	文献紹	介・自主学習範囲内での課題提供 / 紹介	など			
《履修に	こ当たっ	ての留意点》				
		(1年次必修)のポイントを十分におさえ、主			ください。・嚥下障	章害はチームで取り組むこと
が里安	じり。(典)	習 / グループワークなどを通じて、多職種	筋来に"プロでも子ん (			授業以外での準備学習
方法		内 容		使用教	X材	の具体的な内容
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	基礎知識(解剖・生理学など)の再確認す				
	タコマに	摂食嚥下障害概論①				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	症例を通じて、摂食嚥下リハの流れを再確認する.			$_{\mathbb{Q}}$	
	各コマに おける 授業予定	摂食嚥下障害概論② / 小テスト(第1~2回まとめ)				
第	授業を	情報収集とスクリーニング検査内容 / 検査方法の確認				
	通じての 到達目標	情報収集とスクリーニング検査内容/検査	方法の確認			
第 3 回		情報収集とスクリーニング検査内容 / 検査 症状とスクリーニング①	方法の確認	①、③		
3 回 第	到達目標 各コマに おける		<b>万法の確認</b>			
3	到達目標 各コマト おけ予定 授業をの	症状とスクリーニング①		①、③		
3 回 第 4	到達 標 に	症状とスクリーニング① 各スクリーニング検査方法の演習 / 習得				
3 回 第 4 回 第 5 回	到達 保 日本 ではる 定 長進にする できる をの標 をおする できる できる できる できる 定 をのできる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	症状とスクリーニング① 各スクリーニング検査方法の演習 / 習得症状とスクリーニング(2 / 小テスト(第3~4回		①、③		\$77 dife 1/1 bit on a side into his wa
3 回 第 4 回 第 5	到 各 お授 授	症状とスクリーニング① 各スクリーニング検査方法の演習 / 習得症状とスクリーニング② / 小テスト(第3~4년検査内容と方法の確認①		①、③	女材	授業以外での準備学習 の具体的な内容

6 □	各コマにおける	評価と診断②(嚥下造影検査ほか)/ 小テスト(第5~6回まとめ)	①、③	
第	授業を 通じての 到達目標	検査内容と方法の確認②		
7 回	各コマに おける 授業予定	評価と診断③(嚥下内視鏡(VE)検査ほか)	1,2,3	
第 8 回	授業を 通じての 到達目標	VE検査画像所見の確認と評価ポイントの確認②		
	各コマに おける 授業予定	評価と診断④(嚥下内視鏡検査ほか) / 小テスト(第7~8回まとめ)	①、②、③	
第	授業を 通じての 到達目標	検査内容と方法の確認③		
9	各コマに おける 授業予定	評価と診断⑤(その他の検査方法)	①、②、③	
第	授業を 通じての 到達目標	検査/評価方法のまとめ		
10	各コマに おける 授業予定	評価と診断⑥ / 小テスト(第9~10回まとめ)	1,2,3	
第	授業を 通じての 到達目標	(食物を用いない)摂食嚥下訓練の方法を知る.		
11	各コマに おける 授業予定	リハビリテーション①(間接訓練①)	①、③	
第	授業を 通じての 到達目標	(食物を用いない)摂食嚥下訓練の実施方法を演習 / 習得する.		
12 回	各コマに おける 授業予定	リハビリテーション②(間接訓練②) / 小テスト(第11~12回まとめ)	①、③	
第	授業を 通じての 到達目標	(食物を用いた)摂食嚥下訓練の方法を知る.		
13 □	各コマに おける 授業予定	リハビリテーション③(直接訓練①)	①、③	
第 14 回	授業を 通じての 到達目標	(食物を用いた)摂食嚥下訓練の実施方法を演習 / 習得する.		
	各コマに おける 授業予定	リハビリテーション④(直接訓練②)/ 小テスト(第13~14回まとめ)	①、③	
第 15 回	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下リハの流れをつかむ.	-①、③	
	各コマに おける 授業予定	リハビリテーション⑤(治療計画とゴール設定)		